

- 出品資格：五段以上。●用紙サイズは半切縦が角半。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。(作品の裏右下には鉛筆で段位と氏名も忘れず記入)

うだるような暑さがずーと続いていた間でも、所所では書道展なども開催され、それぞれに賑わいを見せていました。
過日、書道展会期中にかな書家四人による席上揮毫の共演がありました。モニターを通して2×8や2×6などの大作を拝見することが出来ました。運筆の遅速、太細と強弱がリズムよく流れ、かなの真骨頂といえる潤渇や余白のとり方も見事でした。気韻豊かな作品は各先生の書の世界を見せてもらったような気がして、緊張と歓喜に溢れる有意義な一時でした。

かな部 次号課題

A 桐の葉も踏み分けがたくなりけり

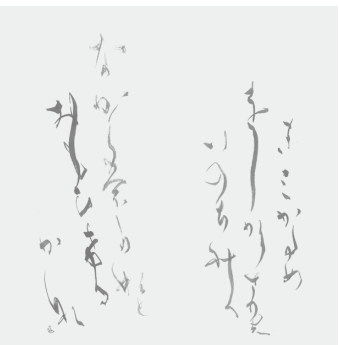
かならず人を待つとなけれど (式子内親王)
・桐の落葉も、庭の道を埋めて、踏み分けにくくなってしまった。必ず訪れてくれると決めて、待つ人があるというのではないけれども。

B 野分やむで人声生ぎぬここかしこ

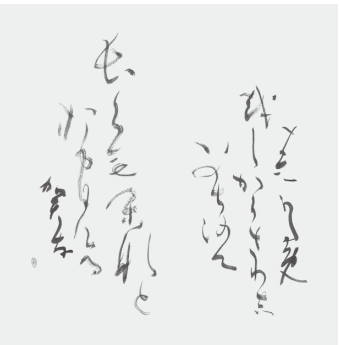
・激しく吹き荒れた野分が収まり、沈黙していた人々の声が再びそここから生々と聞こえて来た。(原石鼎)

優秀作品

〈師範・準師範の部〉



加茂正美 小さく書き、大きく表現。余白の美しさに魅了される。

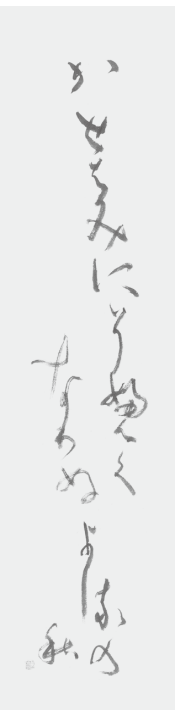


中川千賀子 一群と二群のバランスがよい。墨継ぎも効果的。

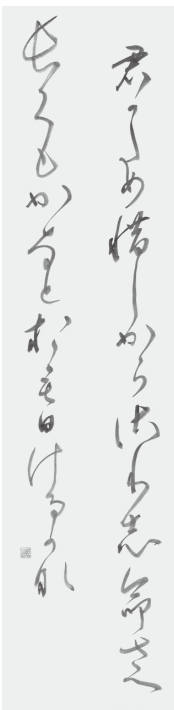
〈修士以下の部〉



野間千秋 思い切りよく、終句の収め方が特に良い。



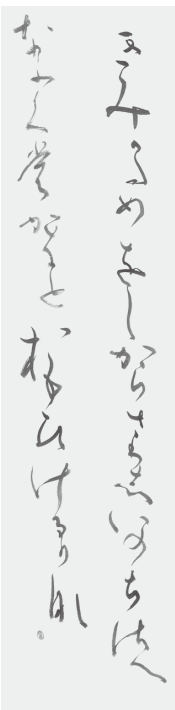
川嶋冷子 丁寧な用筆で堂々の作。



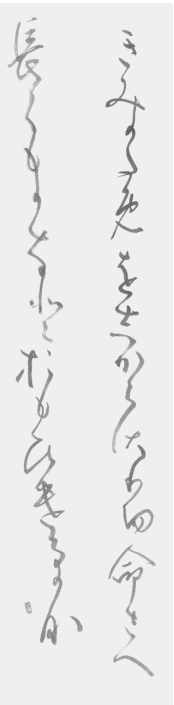
高橋哲山 文字の組み合わせもよく一貫した流れで秀作。



木村翠孝 濃墨を駆使し潤渇が程よい。



西尾珂峰 行の揺れが全体を引き締め、古筆の香りがする。



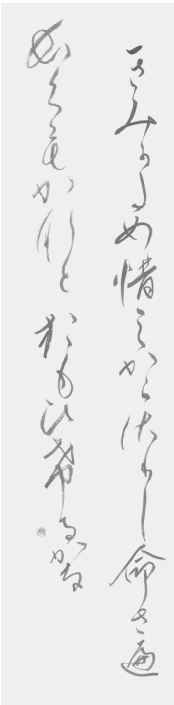
前田啓齋 線強く息の長い連綿もすつきりとしている。



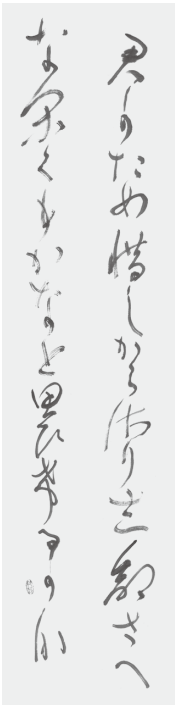
井上桃華 「曾、布」の大胆な表現が他の文字にも溶け込んでいる。



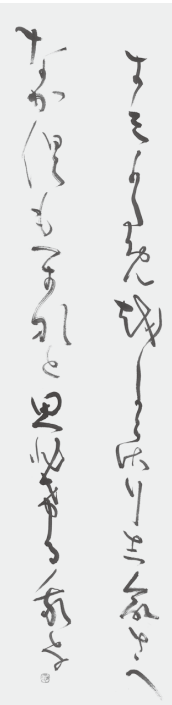
能勢玄海 多彩なちらしに感服。気品漂い申し分ない。



北村東暉 柔軟な筆使いで行の流れの美しい作。



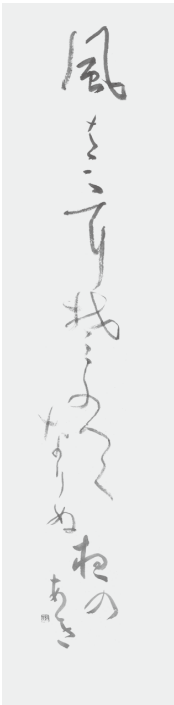
坂下邦春 意欲的な姿勢が窺え、パワーを頂く。「命」は一考。



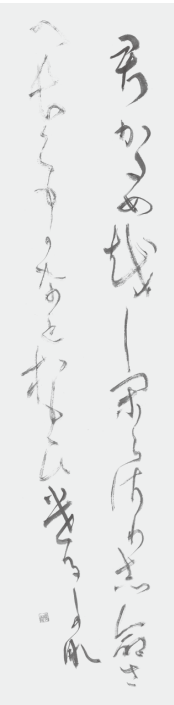
木村恭翠 字形よく締まり連綿線の変化に妙あり。



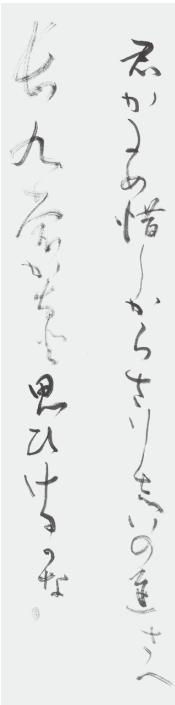
折田益美 力まず明るい作。終句が少し下がったが…。



西田治美 「風」少し大きくも全体を上手くまとめている。



白井映雪 長い渴筆も寂しくなく流れも美しい。



後藤幸子 線に抑揚あり。墨継ぎ後は行に動きを。